

おもてなしの心で応援！ 「ツール・ド・さくらんぼ」 今年も開催！

日本一さくらんぼの里・寒河江と

風光明媚な西村山を自転車で駆け抜ける

「ツール・ド・さくらんぼ」。

地域をあげての心をこめたおもてなしが、
全国からの参加者に大好評です。



心のコもったおいしい地元の味覚に舌鼓



沿道からの「ガンバレ」の声が参加者の励みに



取材/渡辺和志 デザイン/星川忠平 撮影/奥山茂俊 文/たなかゆうこ



寒河江西村山の1市4町を自転車で駆け抜ける「ツール・ド・さくらんぼ」

エイドで休憩する参加者を 地元の味覚でおもてなし

〈Moriver編集室〉 昨年の第1回大会では、6か所に設けたエイドステーション(以下、エイドII休憩所)が参加者に変、好評でした。その一つ、30キロ地点の葉山エイドでおもてなしをした寒河江市田代地区の町会長・佐藤昭右衛門さん・豊子さん夫妻にお話を聞きました。

葉山エイドで食事を出し

沿道で声援を送り

田代地区をあげて応援

「昨年、葉山エイドの運営に協力させていかげでしたか？」

佐藤 寒河江青年会議所(以下、寒河江JC)の方から、葉山の麓の田代地区もコースに入っていて、大会当日は500人も参加者が上ってくる。と聞き、田代を知ってもらいたい機会になるとエイドを引き受けました。

初めてのことで準備も大変でしたが、婦人会の方たちに料理をお願いして、参加した皆さんに喜ばれて、やってよかったですね。

豊子 筍汁と「つや姫」のおにぎり、谷沢梅干、漬物などを用意しまし



ボランティアの婦人会の方たち
(左から)宮林米子さん・滝田恵美子さん・佐藤千代子さん



「たしる亭」がある元田代小学校校舎
田代地区地域づくり推進協議会(佐藤昭右衛門会長)が、閉校になった旧田代小を活用し、地元の食材を使った1日限定のレストラン「たしる亭」をオープン。3月・6月・9月・11月の年4回の予定で、今年3月に初めて開催した。



寒河江市田代地区町会長の佐藤昭右衛門さん・豊子さん夫妻

「この大会が、地域の活性化につながっていると聞ききました。」

佐藤 それまでは観光地でもない田代地区まで上って来る人は減多にいませんでしたが、大会の後、自転車クラブの人などがサイクリングに来てくれるようになって…。ここから葉山までの、きつい上り坂を走るのがいいようですね。今年も、大会に参加する人が練習に走ってますよ。

私たちが、またエイドで大会を盛り上げたいと思っています。

